

文理融合・人文社会科学総合の「21世紀型スキル」の習得を目的とした「総合社会科学としての情報社会学」による人材育成

明星大学 人文学部 人間社会学科(天野 徹)

DXの社会実装と生成AI活用が進むVUCAの時代、新たな価値創造ができる文理融合・人文社会科学総合の知を備えた文系人材が求められている。本活動では、情報社会論で文理融合・人文社会科学総合の知を習得し、地域情報論で実践的なデジタル活用について学び、ゼミではアイデアソン・ハッカソンそして地域活動などに関わる学生たちの情報・知識・スキル面での支援を行ない、高度情報社会に対応できる人材の育成を行っている。卒業生からは、DSやDX、VRの等スキルを身につけた文系DX人材、自治体DX人材、AIコンサルなど、Society5.0の時代を担うに相応しい文理融合型DX人材が継続的に生まれている。

総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

VUCA時代に生起する社会経済現象を領域横断的・多元的な視点から理解し、人間中心社会の実現を念頭に置きながら、文系的センスに基づいて新たな問題を発見し、問題解決策の構想および構築、そして社会実装ができる人材を育成する。

総合知人材の育成方法/育成方法の工夫

政治・経済・経営・法律から社会学・哲学・情報など多領域の知見を、一つの文脈のもとに体系的に理解できる総合社会科学として、情報社会学のテキストを作成。学際知に基づく人材連携を可能とした。他大学の連携も可能とし、他学部他学科の教員とのアライアンスも進め、他学部聴講の学生も現れるようになっている。

生み出された総合知 / 得られた新たな価値

DSやGISを使いこなす学生、ハッカソンでシステム構築を行う学生、自治体イベントでアンケート調査を行う学生が育ち、マーケティング会社からAI関係の会社に転職するOB、ICT企業からコンサル会社に転職するOB、DX人材として自治体職員となる学生を輩出。メタバース上のコンテンツを作成する学生も育ちつつある。

文理融合・人文社会科学総合の人材育成

情報社会の社会経済現象を学際的な知見に基づいて捉える能力と、ビジネスモデルや情報システムなどを含むソリューションを構想・構築できる能力を養成

人文社会科学の総合
文系からの文理融合
自治体・市民団体との協働
他大学・他学部・企業の連携

デジタルツイン授業



メタバースを活用した授業風景

【教育の四つの方針:文理融合・実践躬行】

- ◆ 学際的な社会科学知で社会現象の本質を把握
=>世界規模のマクロな社会システムの変化と、具体的な個人の生活との関連を、社会科学を超領域的に活用することによって理解する教育を提供
- ◆ リベラルアーツとセンスメイキング
=>量的調査と質的調査の結果を、より高いレベルで統合して社会現象の本質を把握するセンスメイキングの意義と手法の活用法に関する教育を提供
- ◆ 高度情報環境を活用したシステムの構想と構築
=>社会経済システムの向上を目指し、オープンデータ・ビッグデータの活用やAPIを活用した情報システムやアプリを構想・構築する能力を習得
- ◆ 事例研究や実装実験を通した多様なスキル
=>市民団体や自治体職員の参加を得たシンポジウムの開催・行事やハッカソンへの参加・イベントでの展示・実装実験などにより、即戦力を体得

【目指す成果】文理融合の総合知と情報環境を活用したソリューションを構想・構築できる能力を備え、VUCAの時代に人間中心社会の実現に貢献できる人材の育成



講義テキスト

文系用統計学テキスト



立川アプリ実証実験 TRONシンポジウム展示



天野研究室企画の慶應日吉でのシンポジウム

一 文理融合・人文社会科学総合の「21世紀型スキル」の習得を目的とした「総合社会科学としての情報社会学」による人材育成 一

明星大学(天野 徹) 情報社会論・地域情報論・情報社会研究(ゼミナール)

文系的センスを活かしてDXを進めていくことのできる**文理融合型DX人材**、すなわち「思考力を中核とし、それを支える基礎力と、使い方を方向づける実践力」を持つ人材が求められている。本活動は、**文理融合・人文社会科学の総合知**によって、教科・領域横断的な学習により**社会経済についての理解力**を身につけ、**センスメイキング**を用いた**問題発見・意味創造能力**を習得した上で、社会参画の下で**様々な主体と協働しながらソリューションを構築・社会実装する能力**(21世紀型スキル)を発揮できる人材の育成を目指している。(テキスト『21世紀型スキルとしての情報社会学』は2020年3月、春風社より刊行)

【総合知により目指すビジョン】

VUCAの時代に生起する社会経済現象を領域横断的・多元的な視点から分析解釈。より高い視座から総合的に理解した上で、望ましい解決策を構想できる能力を持つ人材の育成

【参画しているステークホルダー】

明星大学文学部人間社会学科の学生、同大学の学部にも所属する全ての学生および、単位互換制度に加盟している多摩地域の諸大学の学生のうち、二年生以上の者

【生み出された価値／新たな価値】

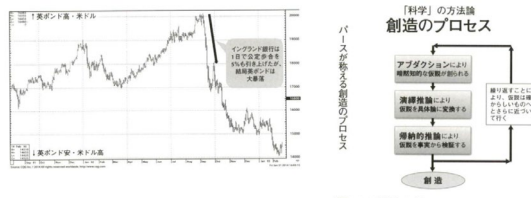
在学中に自治体イベントの実施に参加しアンケート調査を行う学生、ハッカソンに参加しシステム構築を行う学生が育った。また、文理系型データサイエンティスト、AI人材、文理融合型の総合知を活かしてICT企業からコンサルティング会社に転職する学生、自治体DX職員や建設DX人材を輩出した。さらに、メタバース上のコンテンツを作成する学生も育ちつつある

講 義 の 構 成	基礎力：文理融合・人文社会科学総合の総合知を身につける
	経済学 政治学 法学 商学 社会学 国際関係 知的財産権 イノベーション ビジネスモデル 情報通信技術 情報科学
	思考力：多様な観点から社会現象を理解し本質を把握する
	ニューグローバリゼーション 知財戦略 GVC革命 格差社会 質的調査 量的調査 統計学 リベラルアーツ センスメイキング
	実践力：高度情報環境を活用して新たな価値を提供する
	オープンデータ・ビッグデータ アルゴリズム プログラミング GIT HUB アジャイル開発 Society5.0 価値創造 人間中心社会

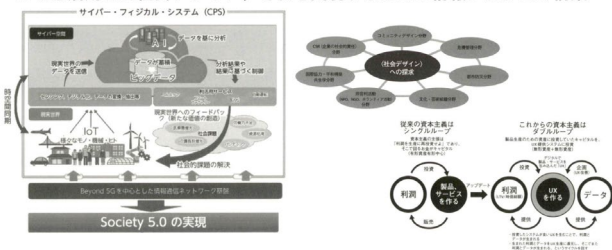
総合知に基づき新たな問題を発見する能力、社会経済現象を調査分析する能力、現象の本質を把握する能力、問題を発見しソリューションを構想・実装する能力を育成するカリキュラム

1) 経済・経営・情報に携わる学生は、他学部と連携し、学際的な視点で専門的知識を深め、社会的課題を解決する能力を育成する。

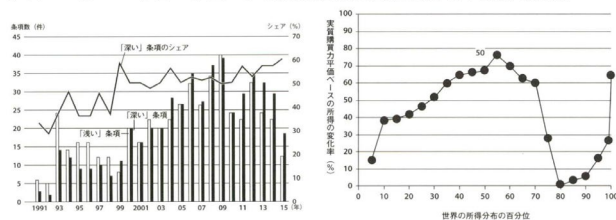
科学的測定による数量データの限界と、新たな知の創造手法



CPSを活用した社会デザイン、それを実現するための情報システムの構築



グローバル・バリューチェーンの変化と先進国における中間層の没落

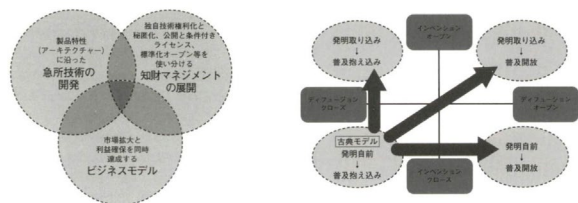


2) 学科の質的調査関連科目、量的調査関連科目で習得した調査手法・分析手法を、リベラルアーツを活用してより高い次元で総合し、現象の本質を把握する方法論である、センスメイキングを理解させ習得することで、VUCAワールドにおいて「人間中心社会に相応しい問題解決」ができる人材を育成する。

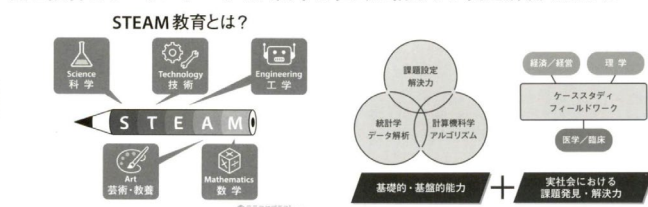
Society5.0が拓く社会、ビッグデータとAIによる価値あるイノベーション



知財マネジメントの展開と、ビジネスモデル・イノベーション



文理融合とリベラルアーツ：人間中心社会に相応しい問題解決のために



3) CPSを活用した社会デザインや高度情報環境を活用したUXをライフスタイルに合わせて選べる時代に対応し、アイデアソンやハッカソンによりオープンデータを活用してアジャイルにシステム開発を行い、VUCAワールドに対応できる文系型イノベータを育成する。